

やぶなみ

公民館だより



発行日
令和4年11月10日
発行所
小矢部市立藪波公民館
〒932-0122
小矢部市浅地 672-1
TEL. FAX 61-2046

にぎわいが戻ってきました

まだまだ新型コロナウイルス感染の心配は続いています、徐々に公民館にもにぎわいが戻ってきました。特に10月には公民館まつりをはじめとていくつかのイベントを企画し、それぞれにたくさんの参加者があり盛況でした。今回はそれらのイベントを写真も交えて振り返ります。

公民館まつり

秋晴れの10月30日、有観客での藪波公民館まつりを3年ぶりに開催しました。今回はステージ発表と作品展示をアリーナで行ったことで、階段を上ったり建物に入りなおしたりする必要がなく、移動がスムーズだったと好評でした。



曲紹介も楽しく 中学生のブラスバンド演奏



大正琴の演奏に合わせて中学校の先生も歌っていただきました



藪波民謡会の発表です



山本さんのマジックで会場は笑い拍手の渦に



児童クラブからは24点の作品が出品されました



おしとやかに茶道教室の発表です



金魚(鯉)すくい:大事に育ててください

たくさんのご来場
ありがとうございました

歴史講座

「やぶなみ郷土史をあるく」シリーズ第3回の『浅地編』を10月10日（月・祝）に行いました。当日はあいにくの小雨模様でしたが、20人以上の参加がありました。コースは公民館から出発して、まず「弘法清水」へ。石黒さんから「弘法大師がここを通られたときに、杖で地面をつくと、清水がわき出たと伝えられている」ことなどを聞きました。その後は藪波地区で最初にできた小学校である「道生小学校」跡の碑がある唐島さん宅、「西恩寺」・「畑醸造」・初代村長の「坂田氏の墓」、「加越線藪波駅跡」などを回りました。途中に通った城端・観音街道は明治時代以前、今石動から城端や安居寺を結んでいた道であり、小原越えの道は金沢から内山を越えて浅地まで通っており、その後砺波や安居寺への近道としても使われた重要な道です。今は田畑として開墾され、道跡をたどることも難しくなっていますが、参加者の方から「自分が子供のころはここに道があった」と聞いて時間の移り変わりを感じました。また、村史には「小髪泥」や「帳場淵」などと名付けられたポイントがあり、今回の講座で紹介しました。それぞれ、川や船着き場があったと思われる名前だということです。これは藪波の交差点より東南付近にあたるのですが、その昔は小矢部川の流れがこのあたりにまで来ていたことを示しており、当時の景色が今とは違うことを参加者の皆さんも実感していらっしゃいました。



西恩寺



道生小学校跡碑



弘法清水跡

その後は藪波地区で最初にできた小学校である「道生小学校」跡の碑がある唐島さん宅、「西恩寺」・「畑醸造」・初代村長の「坂田氏の墓」、「加越線藪波駅跡」などを回りました。途中に通った城端・観音街道は明治時代以前、今石動から城端や安居寺を結んでいた道であり、小原越えの道は金沢から内山を越えて浅地まで通っており、その後砺波や安居寺への近道としても使われた重要な道です。今は田畑として開墾され、道跡をたどることも難しくなっていますが、参加者の方から「自分が子供のころはここに道があった」と聞いて時間の移り変わりを感じました。また、村史には「小髪泥」や「帳場淵」などと名付けられたポイントがあり、今回の講座で紹介しました。それぞれ、川や船着き場があったと思われる名前だということです。これは藪波の交差点より東南付近にあたるのですが、その昔は小矢部川の流れがこのあたりにまで来ていたことを示しており、当時の景色が今とは違うことを参加者の皆さんも実感していらっしゃいました。



畑醸造

第4回の歴史講座は「四日町付近」で計画しています。来年初夏に実施する予定にしておりますので、皆さんの参加をお待ちしております。

川の調査会



藪波川秋の調査会は10月16日（日）に行いました。調査地点は岡田橋付近、(株)LIXIL横、戸久地内の3か所です。水質はどの地点もきれいでしたが、近年はホタルのえさとなるカワナナの姿があまり見られなくなっています。実際、ホタルの出現数も減ってきていることが気になります。

